

## 第17回 特別国民体育大会ビーチバレーボール競技会 男子2人制/女子2人制 長野県予選会

### 男女とも1週間前の優勝ペアが特別国民体育大会へ

前日からの雨が降り続くあいにくの天候の中、7月9日（日）に男子9チーム、女子4チームによる標記予選会を開催しました。ゲームは28点の1セットマッチ、ノーキャップで実施しました。

男子決勝は先に開催した全日本ビーチバレージュニア男子選手権長野県予選会と同じ顔合わせ、第1シード東海大付属諏訪高等学校の栗山・竹内ペアと第2シード長野工業高等学校の松本航太・松本康駕ペアとの対戦となりました。今大会からのオーバートスダブル基準の緩和により、オーバートスから強打スパイクという攻撃が多く見られ、迫力のある試合展開となりました。中盤まで点差が離れない接戦となりましたが、終盤からは栗山・竹内ペアが得意とするブロック&レシーブの戦術が徐々に威力を発揮し、リードを広げて28-23で今年度の2冠を勝ち取りました。

女子決勝は 松商学園高等学校の伊藤・中川ペアと同じく松商学園高等学校の由井・乾ペアとの同校一年生同士の対戦となりました。先に開催したマドンナカップ及び全日本ビーチを制した伊藤・中川ペアがサーブスエースと正確なショットを決めてジリジリと点差を広げ、28-16で勝利。これで中川・伊藤ペアは今

【県ビーチ連盟副理事長 小澤光良】

年度3冠を勝ち取りました。

男女ともに各大会への出場で忙しいスケジュールとなりますが、コンディションを整えて満足のいく結果を残せるように頑張ってくださいと思います。



## 若手の強化育成を目指す大会で本県出身選手が大活躍！

7月7日（金）から9日（日）にかけて、Vリーグの13チーム（V1：5・V2：7・新加入：1）に全日本学生選抜を加えた計14チームが松本市総合体育館に集結して標記大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。内、5チームには長野県出身選手が全部で13人所属。前日には、その中の6名の選手が松本市の臥雲義尚市長を表敬訪問しました。

多くのチームが若手の強化育成を目的の一つとして位置づけているこの大会ですが、どの試合も多くの観客を魅了する見応えのあるゲームでした。特に地元ルートインホテルズブリリアントアリーズ（以下「ルートイン」）と全日本学生選抜との戦いは、Vリーグチームと学生トップとのプライドのぶつかり合いで、Vリーグのスローガンである「We never drop the ball」そのものをコートで表現した大変素晴らしいものでした。

また連日、開場前から約200名のファンの方々に並んでいただき、今大会を楽しみにして下さっていた様子が見えかけました。

結果は、優勝がPFUブルーキャッツ（以下「PFU」）、準優勝がNECレッドロケッツで、ルートインは6位でした。又、最優秀選手賞にはPFUの高相みな実選手（山ノ内町出身）、フレッシュスター賞にはルートインの高野夏輝選手（岡谷市出身）が選出されました。因みに、高相選手は2011年の、そして高野選手

【松本協会理事長 齋藤善治】

は2015年のJOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗大会で共に全国優勝を果たした長野県中学女子選抜チームの主力メンバーです。

大会後には、Vリーグ機構の講師：櫻井由香氏とルートイン及びGSS東京の選手達によるバレーボール教室も開催され、男女合わせて約90名の小学生が参加。楽しい指導普及の場となりました。

最後に、今大会の受け入れ準備から当日の運営等につきまして、様々な立場から御支援頂きました関係各位に心より感謝申し上げます。



## 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 長野県ラウンド

### 男子優勝は岡谷工業高校 女子優勝は都市大塩尻高校

男子10チーム、女子8チームの参加で開催されました本大会ですが、初戦から熱戦が繰り広げられる中、男子決勝は初戦から共に苦戦を強いられた岡谷工業高校 vs 飯山市体協という高校とクラブチームの対戦になりました。第1セット序盤から競り合う試合展開になりましたが、練習量が勝る岡谷工業高校が2-0で勝利を収めました。

また、女子決勝は初戦から順当に勝ち上がって来た都市大塩尻高校と松商学園高校という顔合わせで、先のインターハイ県予選決勝の対戦と同じになりまし

【安曇野・東筑協会理事長 森 哲夫】

た。こちらも序盤から競り合うゲーム展開でしたが、早いコンビバレーを展開する都市大塩尻高校がリズムを掴み、粘る松商学園高校を振り切って2-0で勝利しました。

男女各上位2チームは9月16日（土）・17日（日）に長野県安曇野市で開催されます北信越ブロックラウンドに出場となります。本年度はVリーグのチームも参加するブロックラウンドになりますが、各チームのご健闘をお祈りいたします。



## 決勝は男女共フルセットの激闘 女子は松本国際中 男子は長野北部中が初優勝！

【県中体連専門委員長 牛田佳伸】

標記大会が7月16日(日)・17日(月)の2日間、男女共に長野市のホワイトリングで開催されました。3年生にとっては、コロナ禍で2年間を過ごし、ようやく春からコロナ禍以前のように動くことが可能になって数ヶ月の最後の夏でした。各地区大会を勝ち上がった男女各16チームが一堂に会し、実に2019年夏以来の太鼓やメガホンを使っての大声援に後押しされて、各コートで激戦が展開されました。

女子は1日目から、目が離せない戦いが続きました。特に、準優勝した長野市立広徳中学校と1回戦で対戦した富士見町立富士見中学校の堅実な守備から展開する確かな攻撃。優勝した松本国際中学校と2回戦で対戦した長野市立三陽中学校の身長180cm超のエース梅野と対角の轟が繰り出す威力抜群の攻撃は、今大会でも見逃せない試合でした。



2日目の準決勝、松本国際中2年生黒岩と、上田市立第五中学校1年生高橋との長身アタッカー同士の打ち合いが見応えのあった激闘もフルセットにもつれ込みましたが、3セット目は3年生の滝澤・古川が要所で攻め切った松本国際中が勝利をつかみました。準決勝のもう一戦、広徳中と長野市立東北中学校の試合は、同じ長野市内で互いに手の打ちを知り尽くした相手同士の戦いでしたが、決定力が一歩上回った広徳中が決勝へ進出しました。

決勝の松本国際中对広徳中の試合は、1月の新人戦県大会と同じカード。フルセットの激闘を制したのは、広徳中の市川・尾澤のセンター線の鋭い攻撃に打ち勝った松本国際中。創部3年目での県大会初優勝に、歓喜の輪が広がりました。

夏、北信越大会に行けるのは3チーム、その出場決定戦もフルセットにもつれたものの、セッター長井のテンポよく回すトスを要所で柳沢・松澤が打ち切り、上田五中が3枚目の切符を手に入れました。

一方の男子。2日目には北信地区の上位3校と、北信の一角を崩した南信2位の南箕輪村立南箕輪中学校が勝ち残りました。

Aコートの準決勝では、新人戦県大会優勝校で大会3連覇を目指す小布施町立小布施中学校が、堅守から緩急のある攻撃で南箕輪中を下して決勝に進出。Bコートでは、身体能力の高い選手が揃った長野市立北部中学校が、上がったトスの殆どを打つ大黒柱183cmの静谷を擁する飯綱町立飯綱中学校を強打で打ち破って進出しました。

決勝戦の第1・第2セットは、小布施中が手堅い守りから繰り出されるエースのスパイクと広角での絞らせないサーブで確実に得点する一方、長野北部中は両エースの破壊力抜群の高い打点からのスパイクで追いつがる展開。どちらのセットも一進一退の攻防が終盤迄続き、第1セットは25-23で小布施中、第2セットは27-25で長野北部中がそれぞれ取り合いました。第3セットに入っても同様の展開が続きましたが、最終盤に入って長野北部中が小布施中の攻撃を高いブロックで防ぎ切り、25-21で北信大会決勝戦の雪辱を果たすと同時に初めて優勝旗を手中にしました。

北信越大会出場決定戦は、今大会4試合中3試合目のフルセットとなった飯綱中の疲れにも乗じた南箕輪中が、最初のセットは取られたものの、第2セットの競り合いに勝利すると、その勢いを保って最終セットも17点で奪い、初めての北信越大会出場を決めました。

北信越から全国大会に行けるのは3チームです。近年、県勢は余り全国に進めていない訳ですが、今年8月1日(火)・2日(水)に石川県加賀市・能美市で行われる同大会では、是非1つでも多くのチームが上位に進出し、そして全国に駒を進めて欲しいと願っています。



**男子：穂高キッズ 女子：岡谷N.V RADIANCE 混合：茅野クラブが優勝！**

【県小連理事長 西澤悦郎】

標記大会を6月25日（日）軽井沢風越公園総合体育館を主会場として男子8チーム、女子16チーム、混合4チームの参加で開催しました。

男子は穂高キッズ、女子はチーム岡谷 N.V RADIANCE がともに初優勝、混合は茅野クラブが3回目の優勝を果たし、この3チームが、8月7日から10日に東京体育館を主会場として首都圏で行われる全国大会の出場権を得ました。以下、各優勝チームのコメントです。

《 穂高キッズ監督 森 哲夫 》

4年ぶりの本大会の県大会出場となりましたが、春の新人戦で優勝させていただいてから追われるもののプレッシャーも多々あったかと思います。そんな中で重圧を撥ね退けて優勝し、初めての全国大会の切符を掴み取ることができ本当に嬉しく思います。

どのチームも力を付けてきていて初戦から苦しい試合展開になりましたが、初戦を取ることで少しずつ落ち着きを取り戻し、決勝は新人戦の時と同じ顔合わせになりました。第1セットを奪われる苦しい立ち上がりとなりましたが、相手のエースを徹底的にマークしてブロックで得点できたことも含め、第2・第3セットを連取して逆転勝ちすることが出来ました。

全国大会初出場ということで、何処まで出来るか分かりませんが、楽しみながら上位を目指したいと思います。

最後に、本大会開催にご尽力頂きました関係者の皆様に、チームスタッフ及び保護者より感謝申し上げます。



《 チーム岡谷 N.V RADIANCE 代表 小谷益弘 》

6月25日（日）、軽井沢で開催されました『第43回全日本バレーボール小学生大会 長野県大会女子の部』において激戦を勝ち抜いて初優勝を果たし、来る8月7日より首都圏6会場で開催される『全日本バレーボール小学生全国大会』への出場権を獲得することが出来ました。

『チーム岡谷 N.V RADIANCE』が『チーム長地』と『岡谷ジュニア女子』が統合して4年目を迎えた今年、選手層も厚くなり、指導者も充実し、このような結果を出すことが出来て大変うれしく思っています。

今まで、この全日本バレーボール小学生大会においては何回か優勝のチャンスがありましたが、全国の壁は厚く、全国大会出場の夢はなかなか叶えることが出来ませんでした。

今年はどちらかといえば小柄なチームで、長身選手を擁する他チームと互角に戦うにはサーブ力の向上とコンビバレーの確立しかないと考え、年初より強化に努めてまいりました。

その効果が現れたのが準々決勝の『小布施』戦でした、数回の全国制覇も果たしている長野県の最強豪に対して、臆することなくサーブポイントを重ね、Aクイックを決めた姿はとても頼もしく思えました。結果2-1とフルセットで勝利を収め、その

勢いのまま準決勝、決勝と勝利。見事初優勝、全国切符を手にすることが出来ました。

これも偏に、関係者の全ての皆様のご支援ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

私たちは、長野県の代表として、意気揚々と胸を張り、全国の大舞台で精いっぱい『チーム岡谷 N.V RADIANCE』らしく戦ってまいります。全国大会初出場を言うことで、緊張することもあるかと思いますが悔いのない挑戦をしてまいりますので、ご声援宜しくお願いします。



## 《 茅野クラブ代表 両角慶亀 》

6月25日、軽井沢風越体育館を主会場に行われた第43回全日本バレーボール小学生大会 長野県大会に参加させて頂きました。

全国大会を目指して熱き1日が始まりました。

初戦は大町マーモットさんと戦いました。序盤から練習してきたサーブが走り、2-0で快勝しました。

迎えた決勝戦、相手は3月の長野米カップで大敗した鬼無里さん。この試合も序盤からサーブが走ってリードを奪います。長野米ではやられていたサーブカットも踏ん張りきり、子供達の成長を感じました。エースも得点を量産し、頼もしさを感じました。試合は終始リードした展開となり、終わってみれば2-0で快勝。リベンジすることが出来ました。

大会全試合を通して、子供達は今シーズン一番の良いプレーを見せてくれました。子供達が日頃からコツコツと熱心に練習に取り組み、努力することをやめなかった結果が、4年ぶり3回目の全国大会へと導いてくれたと思います。

又この結果は、日頃より練習試合の相手をして下さるチームや、子供達が一生懸命に練習を出来る環境と一緒に作って下さった茅野クラブに関係する全ての方のお陰だと心から感謝申し上げます。周りの支えがチームの原動力だと思っています。全国大会では、長野県の代表として精一杯戦ってきます。



## 第26回 令和5年度 全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会 長野県予選会

### 猛暑の中の激戦！男子は、SANADA V.B.C、女子は、ガロンス夢王が共に初の栄冠

【松本協会理事長 齋藤善治】

標記大会が7月30日(日)に松本市総合体育館で開催されました。参加チーム数は、U-14が男子3チーム、女子7チームでした。U-19は、男子の大町スポーツクラブのみの申し込みだったため試合はありませんでした。当日は、選手・スタッフの家族などを含む一般者の入場制限を行わなかったため、たくさんの方に応援をしていただき大会を盛り上げていただきました。どの試合も気迫が伝わる素晴らしい試合でした。それに加え、本大会は、男女とも試合球やネットの高さが一般と同じ条件で行われるため、ボールのさばき方も他の同年代の大会とはまた少し違い、見どころもたく

さんある大会でした。

男女とも優勝チームが、9月30日(土)・10月1日(日)に開催される全国大会(男子：和歌山県、女子：大阪府で開催)へ長野県代表として推薦されます。なお、大会結果は、次のとおりです。男子優勝 SANADA V.B.C、準優勝 VC長野トライデンツジュニア、第3位 NEX WAY SC BOARS。女子優勝 ガロンス夢王、準優勝 VC長野トライデンツジュニア、第3位 風信子ヤングクラブ と NEX WAY SC BOARS。



## 全 18 チームが集い どのカテゴリーも熱戦ばかりで盛り上がる！

千曲市で7月9日(月)、第2回目となる長野県バレーボールOB・OG交流大会を開催しました。今年は男子8チーム(敗者戦ありのトーナメント戦)、女子6チーム(2ブロックの予選リーグ戦の後、1位チーム同士の決勝戦)、ミックス4チーム(1セットマッチの予選リーグ戦後、1位・2位で決勝戦、3位・4位で三位決定戦)の全18チーム参加の大会となりました。



更埴体育館に全チームが集まって代表者会議、開会式、ちくまVC男女2人による選手宣誓…と通常の流れで進行しました。その後、女子とミックスは戸倉体育館に移動してそれぞれ試合が始まりました。

「高校時代にも対戦したことがあったであろう…」と思うような組み合わせもあり、その当時の気分でプレイできていることを満喫しているように見えました。どのカテゴリーも一方的な展開になる場面もなく、デュースになったセットがたくさんあり、熱戦ばかり

【ちくま協会会長 鈴木 功】で盛り上がりました。これは、母体集団をはっきりさせ、大会の趣旨に合ったチームが集まったからでしょう！ また、ミックスではアタックラインを50cm下げたことでつなぐバレーボールが味わえたり、試合中の雰囲気も良かったりして、みんな笑顔で楽しんでいたように思いました。

今回は、審判員資格に挑戦しようとしている人達の勉強会をやることができました。今回チャレンジした6人も、試合の回数をこなすことで資質向上と自信につなげてくれることでしょう。選手達も、ワンタッチした時にはしっかり手を上げて審判とアイコンタクトが取れていて、見ていてとっても嬉しくなりました。

この大会に参加した人達に今後も長野県のバレーボールに携わってもらい、広く普及活動につながってくれることを願って報告とします。

会場の準備から片付けまでして頂いた地元協会の皆様、審判員の皆様、本当に有り難う御座いました。



## KOMAGANE CUP 第5回 ビーチバレーボール 中学生大会

### 猛暑の中 昨年度を大幅に上回る男女計44チームが参加

連日、猛暑が続く7月30日(日)、駒ヶ根市森と水のアウトドア体験広場に於いて標記大会を開催しました。油断は出来ないものの、漸くコロナウィルス感染症が収束の気配を見せつつある中、男子は13校から20チーム(選手数107名)、女子は14校から24チーム(選手数118名)が参加しました。昨年は男子11チーム、女子13チームの計122人でしたので、前回大会の2倍近いチーム・選手が集まったことになりました。

尚、この大会は、神奈川県で毎年お盆過ぎに行われる湘南藤沢カップという全国大会の予選を兼ねていることもあって、それに準じてフリーポジションの4人制、ネットの高さはインドアと同じ男子2m30cm、女子2m15cmです。チームは、交代メンバーも含めて選手6名以内で構成されています。只、インドアでしか経験のない中学生にとっては、余り馴染みの無い砂

【県強化委員 木下久資】の上での競技ということで、ボールに触る機会を極力増やすこと、沢山のゲームを組むことにしました。先ず、前日午後には講習会及び練習会を行いました。更に当日は男女共、最初に4グループ(1グループ男子は5チーム、女子は6チーム)に分けての予選リーグ戦を行った上で、各グループの上位2チームによる決勝トーナメントという競技方法をとりました。しかし、参加チーム数が多かった上に、酷暑という状況もありましたので、予選リーグ戦は男子：7点マッチ、女子は5点マッチ。ベスト8による決勝トーナメントのみ15点マッチとしました(何れもデュース無し)。

男子の決勝戦に勝ち上がってきたのは、3週間前の7月9日(日)、第3回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会(2人制)長野県予選会の覇者である2人を中心とした"TEAM松島A"と"three line"(三郷中・山辺中合同チーム)でした。双方、要所でエースが

鋭いスパイクを決める白熱した展開となりましたが、最終的には強気で攻めた"three line"が15-12で勝利の雄叫びを上げました。

一方の女子は、堅い守備で予選リーグ戦を全勝で勝ち上がった"穂高東・三郷"と、予選リーグ戦で2敗しながらも得失点差で何とか2位をキープして勝ち上がった"南箕輪中A"との決勝戦になりました。序盤は"穂高東・三郷"が効果的なサーブでリードしましたが、170 cm超のエースにボールを集めた"南箕輪中A"が決定力に物を言わせて押し切り、優勝杯を手中にしました。南箕輪は怪我人続出で、インドアの夏季県大会出



場を逃した悔しさを砂の上で晴らしました。

この結果、男子の"three line"と女子の"南箕輪中A"が8月17日(木)～18日(金)、神奈川県で行われる湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会への出場権を得ました。両チームの健闘をお祈り致します。

最後になりましたが、この大会を開催するに当たり、三島理事長様を始めとする県ビーチバレー連盟の皆様、そして地元の上伊那協会の皆様に多くの御支援を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。



## 第21回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会 長野県予選

## '22 マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会 長野県予選

# 男子は第一シードのペア 女子は大逆転で松商ペアが全国大会へ

【県ビーチ連盟副理事長 小澤光良】

7月2日(日)、駒ヶ根市の森と水のアウトドア体験広場に於いて標記大会を開催しました。



男子は11チームによるトーナメント戦を行いました。今年は、近年稀に見る出場チーム数の多さに加え、現役Vリーガーの参戦ということでハイレベルな大会になりました。尚、ゲーム数と熱中症予防の観点から、競技は28点の1セットマッチとしました。

決勝は、第一シードの佐藤(松本市)・水野(愛知県)ペアと長野工業OBで昨年の国体代表の峰村(長野市)・小林(新潟県)ペアの対戦となりました。中盤までは互いのチームの戦い方を探るようなサイドアウトの応酬で、均衡した試合展開となりましたが、終盤にかけて佐藤・水野ペアが拾って決める連続ポイントで徐々にリードし、28-24で全国大会への切符をつか

みました。

一方の女子は、5チームによるトーナメント戦を行いました。こちらも男子同様、28点の1セットマッチで実施しました。

決勝は、前年度優勝の高山・高山(松本市)姉妹ペアと中川・伊藤(松商学園)ペアの対戦となりました。序盤は高山姉妹ペアがサーブとスパイクで相手を揺さぶり、中川・伊藤ペアの連続ミスも重なって10点差がつく一方的な展開となりました。しかし終盤、中川・伊藤ペアがサービスエースや粘りの返球などで追い上げ、29-27の大逆転勝利となりました。

男女両ペアとも、本大会に向けて技術を高めるべく練習を重ね、上位を目指して欲しいと思います。



### 第3回 全国中学生ビーチバレーボール選手権大会(2人制)長野県予選会

## 男子は松島A(佃・三枝ペア) 女子は松島クラブ(丸山・二木ペア)が全国へ

7月9日(日)に、愛知県碧南市で行われる中学2人制ビーチバレーのHEKINANマンモスカップ第3回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会の予選会として標記大会を行いました。昨年度の第1回大会は、男子：3・女子：1と参加チームが少なかった訳ですが、今年は大幅にエントリー数も増えて、更には時折強く雨が降る天候だったこともあり、15点1セットマッチの競技方法の開催となりました。

男子にエントリーしたのは8チーム。4チームの予選リーグ戦を行い、松島A・塩尻VB・丸ノ内A・松島Bが決勝トーナメントに進出しました。予選リーグ戦で試合に慣れてきたのか、スパイクやブロックなどが決まる場面も出てきました。決勝戦は、塩尻VB(望月・大和ペア)が気迫のこもったプレーを随所で見せましたが、それを押し返した松島A(佃・三枝ペア)が15-13で制して優勝しました。

女子にエントリーしたのは4チーム。4チームのリーグ戦で優勝チームを決めることにしました。1年生チームが2チーム出場し、ツーアタックやサーブで崩

【県強化委員 牛田佳伸】

したりするなど健闘しましたが、3年生チームの松島クラブ(丸山・二木ペア)が3勝全勝で優勝しました。

全国中学生ビーチバレーボール選手権大会は8月19日(土)・20日(日)、愛知県碧南市の碧南緑地ビーチコートで開催されます。全国大会迄1ヶ月以上の期間がありますので、更に練習を重ね、両チーム共上位へ進出することを期待したいと思います。



### 2023 長野県ソフトバレーボール夏季大会(全国予選会・北信越総合予選会)

## 5つの部に計 18 チームがエントリーして全国・北信越への出場権を争う

茅野市の茅野市総合体育館において7月2日(日)、標記大会が開催されました。体育館がとても綺麗で明るく、気持ち良く開催することができました。この大会は、スポレクの部・フリーの部が全国予選会で、ファミリー・ゴールド・プラチナが北信越総合の予選会となる大会でした。

開会式では、昨年度フリーの部で全国大会に於いて優勝致しました「翔舞(小諸市)」チームに対して、一般財団法人長野県バレーボール協会より顕彰表彰を行いました。

スポレクの部に5チーム、フリーの部に3チーム、ゴールドの部に7チーム、プラチナの部に2チーム、ファミリーの部に1チーム、計 18 チームのエントリーとなりました。

スポレクの部は、5チームのため総当たり戦を行って「リバティー(安曇野市)」が4戦全勝で優勝。9月15日(金)～17日(日)大分県大分市に於いて開催される第12回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバルに出場致します。

フリーの部も3チームでしたので総当たり戦を行い、前年度全国優勝した「翔舞(小諸市)」が圧倒的な強さを見せて優勝。11月11日(土)～12日(日)熊本県八代市に於いて開催される第8回全国ソフトバレー・フリーフェスティバルに出場致します。

ゴールドの部は7チームでしたので、先ず3チームと4チームに分けた予選リーグ戦を行い、上位4チー

【県ソフト連盟理事長 篠原初男】

ムによる決勝トーナメント戦で優勝を争いました。決勝は「南風(大町市)」と「スーパーふう太(木島平村)」の戦いとなり、「南風(大町市)」が3セット共2点差以内の激戦を制してセットカウント2-1で優勝しました。

プラチナの部は2チームでしたので、「たんぽぽ7(安曇野市)」と「パートナー(茅野市)」による一発決勝となりました。その結果、第1セットを取られた「たんぽぽ7(安曇野市)」が逆転で勝利しました。

1チームしかエントリーのなかったファミリーの部の「こまちゃんK(駒ヶ根市)」と「南風(大町市)」・「たんぽぽ7(安曇野市)」は、10月15日(日)富山県富山市に於いて開催されます2023年度ソフトバレー・北信越総合フェスティバルへ出場権を得ました。



## 主催の中部日本新聞社が撤退も 華やかに開催！

7月15日(土)～17日(日)、石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターにおいて、中部日本6人制総合男女選手権大会が開催されました。



今大会から長年本大会を主催していただいた中部日本新聞社が撤退し、厳しい財政状況下でありましたが、全員参加による開会式や表彰式が実施されるなど、コロナ前とほぼ同じ内容での大会運営方式で開催されました。また、開会式アトラクションとして金沢市消防団伝統の「梯子乗り」が披露されるなど華やかで記憶に残る大会となりました。

【県協会専務理事 村上里志】

さて、長年中部9県持ち回りで久しく開催してきた本大会も、メインスポンサー撤退の影響は大きく、これまでの運営方法を抜本的に見直す必要に迫られることとなっています。

尚、県勢の成績は高校男子で岡谷工業が準優勝、高校女子では都市大塩尻が第三位に入賞を果すなど健闘はしたものの、残念ながら一般男女も併せて概ね低調な結果となりました。



## 令和5年度 2028 長野国民スポーツ大会 競技役員養成事業

### ビーチバレー審判員養成事業スタート！

7月22日(土)23日(日)、宮田村の森と水のアウトドア体験広場(サンドグラウンド)において、2028長野国民スポーツ大会のビーチバレーボール競技開催に向け、審判員育成と競技力向上を目的として、県内のA級審判員が参加しての講習会を行いました。

講師にはJVA審判規則委員会指導部の辻知幸氏(静岡県ビーチ国際審判員)をお迎えし、初日にルール解説の講義と実技指導を、2日目は大会を通じての実技研修を行いました。

初日、開催にあたり県ビーチ連盟三島理事長の挨拶の後に講義に入り、基本ルールからビーチ特有の猛暑対策の取り扱い等、細かい点までルールの解説と取り扱いのレクチャーを頂き、実技講習ではプロトコルの手順・MTO(メディカルタイムアウト)の取り扱い等を確認し、その後モデルチームによるゲーム形式を行い、インドアとの違いを実感しながら初日を終了しました。

2日目は、北信越大学ビーチバレーボール大会の場をお借りして戸惑いや不安の中、実際の試合を通じて

【県審判副委員長 林 康彦】

の実技講習を行いました。

各コートでの1試合目が終了した時点で気温も上昇したことから「猛暑対策」を適用し、MTOの事象もありその際の手順や取り扱いを実際に経験できたことは大きな収穫となりました。



また、ゲーム運営全般の流れをつかむ事ができ、実のある2日間となりました。

これまで、大会時の審判は連盟の方々にご尽力を頂いておりましたが、審判委員会としても5年後の国スポを視野に入れ、研修の場を広げていきたいと考えております。

長野県ビーチバレーボール連盟と、北信越大学連盟におかれましては、今回の養成事業にあたり多大なるご協力を頂きましたことに感謝を申し上げ、報告いたします。



## 令和5年 特別国体 選手選考結果

【県強化委員長 鏡味照明】

6月5日高校総体県予選会終了後、6月11日国民体育大会県予選会（成年の部）の終了後に、それぞれ国体県選抜チームの選手選考会が開催され、以下の選手が選考されました。まずは全種別が北信越ブロックを勝ち抜き、鹿児島特別国体への出場権を獲得することを期待します。

### 《6人制バレーボール》

#### 【少年男子】

監督 壬生 裕之 松本国際高校

|       |          |
|-------|----------|
| 徳留 巧大 | 松本国際高校3年 |
| 水口莉玖哉 | 松本国際高校3年 |
| 山田 丈琉 | 松本国際高校2年 |
| 椿 大和  | 松本国際高校3年 |
| 林 海斗  | 松本国際高校3年 |
| 西村 堅志 | 松本国際高校1年 |
| 勝山 敬太 | 松本国際高校1年 |
| 小田切航輝 | 松本国際高校1年 |
| 小林 智哉 | 松本国際高校2年 |
| 清水 隆誠 | 松本国際高校3年 |
| 田澤 十希 | 松本国際高校1年 |
| 福澤 優弥 | 松本国際高校3年 |

#### 【成年男子】

監督 篠崎 寛 長野☆ガロonz

|       |          |
|-------|----------|
| 浅田 潮  | 長野☆ガロonz |
| 奥原 蓮  | 長野☆ガロonz |
| 高井 大輝 | 長野☆ガロonz |
| 福池 凌太 | 長野☆ガロonz |
| 篠原 和政 | 長野☆ガロonz |
| 小林 哲也 | 長野☆ガロonz |
| 齊藤 優太 | 長野☆ガロonz |
| 荻野 颯大 | 長野☆ガロonz |
| 森崎 健史 | 長野☆ガロonz |
| 難波 宏治 | 長野☆ガロonz |
| 鰐川 怜児 | 長野☆ガロonz |
| 丸山 正和 | 長野☆ガロonz |

#### 【少年女子】

監督 今井 一仁 都市大塩尻高校

|          |           |
|----------|-----------|
| 北村 萌恵    | 都市大塩尻高校3年 |
| 市川 早彩    | 都市大塩尻高校3年 |
| 西木戸カミラ歩美 | 都市大塩尻高校3年 |
| 入沢 実咲    | 都市大塩尻高校3年 |
| 中澤 柚月    | 都市大塩尻高校3年 |
| 飯島茉優樹    | 都市大塩尻高校3年 |
| 櫻井 心     | 都市大塩尻高校3年 |
| 酒井 璃美    | 都市大塩尻高校3年 |
| 涌井 涼帆    | 都市大塩尻高校2年 |
| 武井 陽菜    | 都市大塩尻高校2年 |
| 大木 愛唯    | 都市大塩尻高校1年 |
| 清水 世奈    | 都市大塩尻高校3年 |

#### 【成年女子】

監督 原 秀治 ルートインホテルズ

|        |           |
|--------|-----------|
| 横田 実穂  | ルートインホテルズ |
| 村山 美佳  | ルートインホテルズ |
| 平原 果歩  | ルートインホテルズ |
| 山村 涼香  | ルートインホテルズ |
| 佐藤 未羽  | ルートインホテルズ |
| 貝塚 穂   | ルートインホテルズ |
| 黒鳥 南   | ルートインホテルズ |
| 高野 夏輝  | ルートインホテルズ |
| 西村 美海  | ルートインホテルズ |
| 中田 唯香  | ルートインホテルズ |
| 田川 紘美  | ルートインホテルズ |
| 神田 さくら | ルートインホテルズ |

## 《ビーチバレーボール》

### 【少年男子】

監督 宮下美保子 東海大諏訪高校

栗山 瑛介 東海大諏訪高校  
竹内 快斗 東海大諏訪高校

### 【少年女子】

監督 三溝 裕五 松商学園高校

伊藤 沙帆 松商学園高校 1 年  
中川 愛梨 松商学園高校 1 年

## 7 月 試 合 結 果

- ☆ 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 県ラウンド  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.2\\_tennohai.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.2_tennohai.pdf)
- ☆ 長野県ソフトバレーボール夏季大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.2\\_soft\\_kaki.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.2_soft_kaki.pdf)
- ☆ 第 34 回全日本ビーチバレー女子選手権大会 県予選会  
第 37 回ビーチバレージャパン 県予選会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.2\\_beach\\_japan.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.2_beach_japan.pdf)
- ☆ 2023 V・サマーリーグ女子 東部大会  
<https://www.vleague.jp/summer2023/east/>
- ☆ 令和 5 年度 第 2 回長野県 6 人制 O B・O G 交流大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.9\\_OBOG.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.9_OBOG.pdf)
- ☆ 特別国民体育大会ビーチバレーボール競技会 男子 2 人制／女子 2 人制 県予選会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.9\\_kokutai\\_beach.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.9_kokutai_beach.pdf)
- ☆ 第 3 回全国中学生ビーチバレーボール 2 人制大会 県予選会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.9\\_beach\\_tyugaku.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.9_beach_tyugaku.pdf)
- ☆ 第 73 回中部日本 6 人制総合男女選手権大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.17\\_tyubunihon.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.17_tyubunihon.pdf)
- ☆ 第 53 回全日本中学校選手権大会 県予選会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.17\\_tyugaku\\_sotai.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.17_tyugaku_sotai.pdf)
- ☆ 全日本 9 人制実業団男女選手権大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.31\\_9jitu\\_zenkoku.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.31_9jitu_zenkoku.pdf)
- ☆ 第 36 回北信越小学生バレーボール大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.30\\_hokusinetu\\_syogakusei.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.30_hokusinetu_syogakusei.pdf)
- ☆ KOMAGANE CUP 第 5 回ビーチバレー中学生大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.30\\_komagane\\_cup.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.30_komagane_cup.pdf)
- ☆ 第 26 回 全国ヤングクラブ男女優勝大会 県予選会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.30\\_young\\_club.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2023siaikeka/R5.7.30_young_club.pdf)

## 8 月 スケジュール

|                           |                                             |         |
|---------------------------|---------------------------------------------|---------|
| 8/1(火)～2(水)               | 第 53 回全日本中学校選手権大会 北信越大会                     | (石川県)   |
| 8/1(火)～5(土)               | 第 50 回全国高校定時制・通信制大会                         | (神奈川県)  |
| 8/1(火)～5(土)               | 全国高等学校総合体育大会 女子バレーボール競技大会                   | (北海道)   |
| 8/3(木)                    | 第 44 回北信越国民体育大会監督会議                         | (長野市)   |
| 8/4(金)～6(日)               | 第 22 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会                  | (大阪府)   |
| 8/4(金)～7(月)               | 第 42 回全日本 9 人制クラブカップ男子選手権大会                 | (富山県)   |
| 8/7(月)～10(木)              | 第 43 回全日本小学生大会                              | (東京都 他) |
| 8/7(月)～11(金・祝)            | 全国高等学校総合体育大会 男子バレーボール競技大会                   | (北海道)   |
| 8/11(金)～13(日)             | 第 42 回全日本 6 人制クラブカップ男子選手権大会                 | (大阪府)   |
| 8/11(金・祝)～12(土)<br>・20(日) | 令和 5 年度日本スポーツ協会 公認コーチ 1 養成講習会               | (大町市)   |
| 8/11(金・祝)～13(日)           | ‘23 マドンナカップ in 伊予市<br>ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会 | (愛媛県)   |
| 8/11(金・祝)～13(日)           | 第 37 回ビーチバレージャパン                            | (神奈川県)  |
| 8/12(土)～14(月)             | 第 42 回全日本 6 人制クラブカップ女子選手権大会                 | (和歌山県)  |
| 8/12(土)～14(月)             | 第 42 回全日本 9 人制クラブカップ女子選手権大会                 | (福岡県)   |
| 8/17(木)～18(金)             | 第 14 回湘南藤沢カップ 全国中学生ビーチバレー大会                 | (神奈川県)  |
| 8/18(金)～20(日)             | 第 34 回全日本ビーチバレー女子選手権大会                      | (大阪府)   |
| 8/19(土)～20(日)             | 第 3 回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会 (2 人制)             | (愛知県)   |
| 8/21(月)～23(水)             | 第 53 回全日本中学校選手権大会 バレーボール競技                  | (愛媛県)   |
| 8/25(金)～27(日)             | 第 44 回北信越国民体育大会バレーボール競技 (インドア)              | (新潟県)   |
| 8/25(金)～27(日)             | 第 58 回全国高等専門学校体育大会                          | (茨城県)   |
| 8/27(日)                   | 長野県ソフトバレーボール秋季大会 北信越総合予選会                   | (佐久市)   |
| 8/27(日)                   | 第 11 回北信越ビーチバレーボール選手権大会                     | (駒ヶ根市)  |